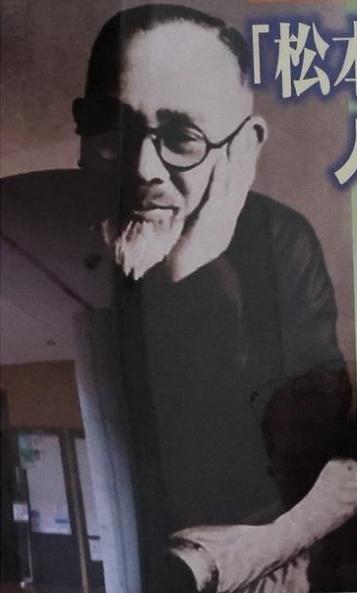


松本治一郎とその生涯

第20回 人権啓発パネル特別展

「松本治一郎」の生涯と 人権ポスター展



一人一音
みんなでいっしょに
できること

人権ポスター展
(上のポスターは菊次加奈さんの作品です)
2007年に人権啓発推進協議会に寄せられたポスターをパネルにし、展示します。

「解放の父」松本治一郎
子どもの頃から、自分たちに向けられる冷たい視線に対し、「植えてみよ 花の育たぬ里じやない」と、差別に立ち向かっていった治一郎は、常に社会的弱者に寄り添い「おやじさん」と慕われていました。後に民衆運動と政治運動との連携の必要性を感じた彼は、国会議員となり、新たな運動を展開していきます。やがて、彼は「世界の水平」を唱え、その実現をめざし、中国、アジアの各国と国交の橋渡しを行います。

期間 2008年 7月1日(火)～7月30日(水) ★開館時間 9:30～17:00
7月21日は休館日です

会場 久留米市人権啓発センター展示室 (えーるピア久留米内)

入場料 無料 ★駐車場 有り(有料) ただし、30分以内は無料

主催/久留米市人権啓発センター
協力/松本 龍

問い合わせ先/久留米市諏訪野町1830-6
久留米市人権啓発センター
TEL 0942-30-7500 FAX 0942-30-7501



久留米市人権啓発センターでは、市民相互に人権を尊重しあう社会づくりをめざし、人権問題に関する常設展示をはじめ特別展の開催及び人権関係資料の提供、図書・ビデオの貸出や学習・研修会の講師を派遣しています。ご利用下さい。

「解放の父」と呼ばれた松本治一郎氏の生涯を紹介。部落解放に命を掛けた生き様は、現在の私たちに様々な示唆を与えてくれる。

B2 : 26枚

松本 治一郎（まつもと じいちろう、1887年～1966年）は、日本の政治家、実業家。部落解放運動を草創期から指導し、周りからは「部落解放の父」と呼ばれました。堂々たるあご髭の風貌から「**オヤジ**」と呼ばれ親しまれました。治一郎は、初めて国会の中で部落問題を論じ、後の部落解放運動の礎を築いた人物です。治一郎の思想、願いは今の人々に受け継がれています。